

第5次豊富町まちづくり計画(案)の意見募集結果

1 意見募集の概要

- (1)意見の募集期間 平成30年12月21日(金)～平成31年1月21日(月)
 (2)提出者・意見数 2名8件

2 意見の概要と町の考え方

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	まちづくり計画の内容自体は素晴らしいと思いますが、「方針」としては理解できる一方で「何をやるのか」という具体的なものが見えにくく、抽象的なものが多いと感じます。ぜひ一つずつ具体化して着実に実行されていくことを望んでいます。	本計画の構成としてビジョン型の計画としており、基本構想、基本計画ではまちづくりにおける目指す姿や方向性について記載することとしています。具体的な事業については、実施計画や各分野で策定される個別計画において計画し、実行してまいります。
2	まちづくりは地域住民の声や要望を吸い上げ、形にすることが大切だと思います。特に人口が減ってきている中では人材も資源です。そのためにも、地域で何かやろうとしている個人や団体を今まで以上に積極的に支援する体制づくり(ワンストップ窓口、まずは何でも相談できるような取り次ぎ窓口)がもっと求められていると思います。地域の声に耳を傾け、地域をより良くするための活動が実行されていくことで、活力ある町になっていくと思います。	人材が資源との考え方については、ご意見のとおりまちづくりにおける重要なものの一つである考え、「まちを支える人づくり」をまちづくりの将来像の一つと位置付けております。 また、個人や団体への積極的な支援については、基本計画「25 コミュニティ」の基本方針のとおり支援を進め、具体的な支援のあり方や体制については、ご意見をいただきながら検討してまいります。
3	サロベツ湿原をはじめとする地域の豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムの推進にこれまで以上に力を入れる方針を打ち出していきたいです。サロベツのファンを全国に増やすことが交流人口を増やしたり、ひいてはふるさと納税や移住者を増やすなど、豊富町の応援団をつくることにつながります。	ご意見の趣旨をふまえて基本計画「7 自然環境・サロベツ湿原」、「8 温泉産業・観光」における基本方針にエコツーリズムの推進についての記載を追加させていただきます。 また、交流人口を増やすことや移住者を増やすことについては、「将来に向けてみんなが大切にする」との記載のとおり、交流人口・関係人口を大切にしてまちに関わる人を増やす取り組みを進めてまいります。
4	子育てサークル活動の支援など、民間と行政が一体となった子育て環境の充実がまちづくりの要の一つだと思います。安心して子育てができる、子育てのしやすい環境があつてこそ、地域の将来を担う子育て世代にとっても住みやすい町になり、他所から見ても魅力的で移住したくなると思います。医療・教育も含めて何が必要か総合的に考えていくのが良いと思います。少子化、人口減少を少しでも食い止めるためにも、最重要テーマの一つではないでしょうか。	ご意見の趣旨については、「地域で子どもの育ちを支える仕組みづくりとともに、安心して子育てをすることができる環境づくりを進めます」とする内容を基本目標4として位置付けているとおり、達成すべき基本的な目標のうちの一つと認識しております。 また、ご意見のとおり子育てについては医療・教育も含めさまざまな分野が関わることから、子育てに関わる総合的な検討とともに戦略的な取り組みが必要であると考えております。
5	地域の財産である郷土資料や兜沼郷土資料室(旧梅村邸)を大切に保存すると共に、歴史的な価値をPRして積極的に活用する方法を検討すべきだと思います。たとえば登録有形文化財に登録し、保存状態を良くすれば地域の誇りになりますし、魅力的な観光資源になり得ます。	ご意見の趣旨については、基本計画「24 スポーツ・文化」における基本方針のとおり、郷土資料や伝統の保存、伝承を進めるとともに活用について検討してまいります。ご提案いただいた具体的な展開の方法については、今後の事業実施にあたっての参考とさせていただきます。

番号	意見の概要	意見に対する町の考え方
6	<p>都市からのターン組であり子育て当事者として、町の子育て支援について意見を述べさせていただきます。出来ましたら、最低限他の町にあるものを揃えてほしいということです。1つは、「ファミリーサポート」です。もう1つは、「子育てサークルなど小さな自主サークルへの助成制度」です。</p>	<p>ファミリーサポートについては「私たちはこんなまちにしたい～町民が描く未来の豊富町の姿」にも記載があるとおり、子育てに関する重要なお意見、ご要望だと認識しております。「将来像の実現に向けて戦略的に取り組むこと」における「地域で子どもの育ちを支える仕組みづくり」にむけてご意見をいただき、地域の実情をふまえながら関係機関との調整に努めてまいります。</p> <p>また、ご意見の助成制度については、基本計画「25 コミュニティ」の基本方針に基づき推進するとともに、子育てサークルなど小さな自主サークルへの助成については、ご意見をいただきながら支援のあり方について検討してまいります。</p>
7	<p>子育て支援は、『暮らしの充実』『次世代育成』のみならず、必ずや町のイメージアップ、ひいては町への移住＝人口減少への歯止めにつながるものであると考えられますので、必要なものを最低限、というところからもう一步踏み込んで、『移住者増加』＝人口問題の1つだとお考えになられて、より積極的かつ大胆な取り組みをするのが町のイメージアップにも良いかと思えます。</p>	<p>ご意見の趣旨については、基本計画「9 移住定住」の基本方針のとおり、子育てや教育環境などの充実が移住を促す取組みになると考えております。また、移住者増加に向けては上記に加え、住まいや働き場所、暮らしを支えるサービスなどの充実をまちが一体となって総合的に推進してまいります。</p>
8	<p>コンパクトでまとまりのある町ですから、半年に一度でも、子育て世代と町長が膝を付き合わせて懇談する(意見を聞く、どんなことがあったら移住したい町になるかな～など)機会を設けるなども良いかと思えます。</p> <p>若いママたちは、イメージアップについて、子育て支援策のみならず、たくさんの素晴らしい意見を持っていると思いますので、ご活用ください。</p>	<p>ご意見の趣旨については、基本計画「27 広報・広聴」における基本方針のとおり、懇談会の開催などによってご意見をいただく機会の充実に努めてまいります。また、ご提案の具体的な実施方法については、懇談会の一つの形式として今後の参考とさせていただきます。</p>